

人間力に満ちあふれ、山形の未来をひらく人づくり

【県立高校が取り組む教育の重点】

- | | | |
|-----------------|----------------|-----------------|
| 1 挑戦する意欲を引き出す教育 | 2 学力の向上に向けた取組み | 3 地域を支える人材の育成 |
| 4 幅広い選択肢の確保 | 5 キャリア教育の充実 | 6 多様な生徒の学びの場の確保 |

【県立高校再編整備の基本方針】

● 各学科の配置

- (1) 普通科及び普通系の専門学科(理数、体育、音楽、国際)
 - ◆ 8地区ごとに、大学等への進学を希望する生徒への指導体制を整えるために望ましい規模の学校を少なくとも1校配置します。
 - ◆ 必要に応じて、普通科高校(普通系の専門学科との併設校を含む)の再編や「探究科」など新たな学科を設置します。
- (2) 職業に関する専門学科(農業、工業、商業、水産、家庭(含福祉)、看護、情報)
 - ◆ 地域産業や社会の情勢を踏まえ、生徒数の減少に伴う一律的な削減は行わず、全ての学科の学習の場を確保します。
 - ◆ 1学年当たり4学級以上の単独校については、原則として単独校として維持します。
 - ◆ 1学年当たり4学級を下回る単独校については、当面は単独校として維持しながらも、更に小規模化が想定される場合には、他学科との再編を検討します。
- (3) 総合学科
 - ◆ 8地区ごとに、少なくとも1校配置できるよう検討します。
 - ◆ 更なる設置については、生徒・保護者や地域社会のニーズを踏まえて検討します。

● 特色ある学校の配置

- (1) 総合選択制
 - ◆ 学校や地域の実情に配慮し、高校教育における質の確保・向上と学校活力の保持の観点から、小規模化する専門高校等を再編し、学科の枠を超えた学習ができる総合選択制高校の設置を検討します。
- (2) 中高一貫教育
 - ◆ 庄内地区について、東桜学館中学校・高等学校の取組みや、全国の併設型中高一貫教育校の成果を踏まえ、地域の意見を聞きながらモデル校を設置します。
- (3) 普通科単位制(全日制)
 - ◆ 学校独自の科目を含む充実した教育課程を編成し、生徒の多様な進路希望や学習要求にきめ細かく対応する全日制の普通科単位制高校を、8地区ごとに、少なくとも1校配置します。
- (4) 定時制・通信制
 - ◆ 夜間定時制については、状況が整った地区から昼間定時制への移行を検討します。
 - ◆ 多様な生徒が、それぞれの実情に応じて学習の時間帯や形態を選択することができる新しいタイプの高校を、庄内地区に設置します。

● 県立高校の再編整備に関する基本方針

- (1) 再編整備による新しい学校づくりなどを通して、高校として望ましい学校規模(1学年当たり4~8学級)を確保し、教育の質的な向上と学校の活力の保持を図ることを基本とします。なお、1学年当たり4学級を下回る学校については、キャンパス制の導入や地域との連携等により、教育環境の改善に努めます。
- (2) 1学年当たり2学級の学校については、入学者数が2年連続して入学定員の3分の2に満たない場合は、その翌年度から入学定員を1学級分に減じます。ただし、この基準の適用に当たっては、学科等の特殊性や交通事情等の地域の実情に十分に配慮します。
- (3) 1学年当たり1学級の学校^{※1}については、学校が所在する市町等の意向を踏まえ、学校関係者及び当該市町等で構成する「学校魅力化に係る地域連携協議会(仮称)」等において、学校の魅力化、活性化策を検討し、3年間を目処として実施します。

実施後においても、入学者数に増加傾向が見られない場合^{※2}は、設置主体を含めた学校の在り方について、地元市町と改めて協議することとします。

※1 この場合、分校も1つの学校と見なします。

※2 目安として、入学者数が2年連続して入学定員の2分の1に満たない場合とします。

【平成 27 年度～令和 6 年度の年次計画と各地区の再編整備】 (◎:1 学級増 ○:1 学級減 ☆:学科改編等 ☒:募集停止 ■:統合 ◆:分校化) 人数は中学校卒業業者数及び今後の見込数、○内の数は学級数

学区	平成 26 年度 学級数	27 年度 (2015)	28 年度 (2016)	29 年度 (2017)	30 年度 (2018)	31 年度 (2019)	令和 2 年度 (2020)	3 年度 (2021)	4 年度 (2022)	5 年度 (2023)	6 年度 (2024)	令和 6 年度 学級数
	中学校卒業業者数	27 年 3 月卒	28 年 3 月卒	29 年 3 月卒	30 年 3 月卒	31 年 3 月卒	2 年 3 月卒	3 年 3 月卒	4 年 3 月卒	5 年 3 月卒	6 年 3 月卒	対 26 年度中卒数
東	75 学級 ・東南村山 61 ・西村山 14 4,369 人	○山形中央(普) ○山形西(普) ☆山形東(探②・普④) ☆寒河江(探コ①・一般コ④) ○谷地(普) 4,309 人	○山形中央(普) 4,184 人	○山形西(普) 4,219 人	☆山形東(探②・普④) ☆寒河江(探コ①・一般コ④) ○谷地(普) 4,239 人	○山形南(普) ○上山明新館(普) ○谷地(普) 3,910 人	○左沢(総) 3,891 人		○山形工業(工) 3,836 人	○天童(総) 3,785 人	○左沢(総) 3,725 人	66 学級 ・東南村山 55 ・西村山 11 ▲644 人
	R7 以降の再編整備計画の検討											
北	31 学級 ・北村山 14 ・最上 17 1,624 人	◆新庄神室産業 真室川校 ○楯岡(普) ○新庄南(普) ○北村山(総) ☆新庄北(探コ①・一般コ④) 1,705 人	楯岡(普) 東桜学館 中・高 1,674 人	○新庄南(普) 1,714 人	○北村山(総) ☆新庄北(探コ①・一般コ④) 1,618 人		学校魅力化地域連携協議会 (最上校、金山校、真室川校) 計画面の周知・検討 最上地区の再編整備 ・R6 神室産業(商)新設 ・R8 新庄新開校(新北と新南普統合)、R9 定時制屋間移行			○新庄北(全普) ◎新庄神室産(商) ☒新庄南(商) 1,493 人	○新庄北(全普) ◎新庄神室産(商) ☒新庄南(商) 1,345 人	28 学級 ・北村山 13 ・最上 15 ▲279 人
	学校魅力化地域連携協議会 (最上校、金山校、真室川校)											
南	42 学級 ・東南置賜 30 ・西置賜 12 2,073 人	○米沢工業(工) ○南陽(普) ☆米沢興譲館(探②・普③) ☆長井(探コ①・一般コ④) 1,204 人	○米沢工業(工) 1,140 人	○新庄南(普) 1,714 人	○南陽(普) ☆米沢興譲館(探②・普③) ☆長井(探コ①・一般コ④) 1,918 人	○小国(普) 1,871 人	○荒砥(総) 1,832 人	○米沢商業(商) 1,693 人	○高畠(総) ☆米沢工業(定工→総) 1,732 人	○高畠(総) ☆米沢工業(定工→総) 1,709 人	○置賜農業(農) 1,717 人	35 学級 ・東南置賜 25 ・西置賜 10 ▲356 人
	学校魅力化地域連携協議会 (荒砥、小国)											
西	55 学級 ・田川 32 ・飽海 23 2,784 人	○鶴岡工業(工) ○酒田光陵(商) ☆遊佐(普→総) 1,204 人	○酒田光陵(普) 1,210 人	○庄内農業(農) 1,635 人	○鶴岡北(普) ○酒田西(全普) ☆酒田東(探②・普③) ☆酒西(定)→屋間定 1,494 人	○鶴岡中央(総) ○酒田光陵(工) 1,415 人	☒鶴岡南山添校(普) 2,291 人	☒鶴岡工業(定) ■鶴岡南(通) ○庄内総合(総) 全日、屋間定、通信制併設校 2,193 人	○加茂水産(水) 2,240 人	■鶴岡■鶴北 致道館 中・高 ○致道館 中・高(普) ○酒田西(全普) 2,172 人	42 学級 ・田川 24 ・飽海 18 ▲653 人	
	学校魅力化地域連携協議会 (遊佐)											
計	203 学級 10,850 人	2 学級減 10,684 人	3 学級減 10,616 人	3 学級減 10,610 人	4 学級減 10,269 人	6 学級減 9,808 人	3 学級減 9,630 人	なし 9,116 人	3 学級減 9,327 人	3 学級減 9,159 人	5 学級減 8,918 人	171 学級 ▲1,932 人
	田川地区の再編整備 ・R4 庄内総合開校 ・R6 致道館中・高開校(鶴南と鶴北統合) ・鶴岡中央、加茂水産、庄内農業統合と校舎制導入検討											